

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第8章 生涯を通じた健康づくりの推進

第4節 病気にならない（未病を治す）取り組み

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部健康増進課

1 課題に対する平成27年度の実績

(1) 「かながわ健康プラン21(第2次)」に基づく県民健康づくり運動の推進

- 県民に対し、より効果的な施策の推進を図るため、有識者や先進的な取り組みを行う民間企業、自治体等により検討を行う健康寿命日本一戦略会議を開催した。(1回)
- 生活習慣病等の防止を図る「食」「運動」「社会参加」の取り組みを社会全体で取り組むよう「未病を治すかながわ宣言」に基づき、「未病を治すかながわ宣言活動登録制度」により、企業等と連携して、「未病を改善する」取り組みの普及啓発を図るとともに、県民が「未病を改善する」取り組みを実践できる「未病センター」の設置を推進した。
- 県内の各団体・関係機関や市町村とともに健康づくりを推進するために、かながわ健康プラン21推進会議を開催(2回)した。
- かながわ健康プラン21の進捗状況と効果的な推進を図るために神奈川県生活習慣病対策委員会を開催(1回)、かながわ健康プラン21目標評価部会を開催(1回)した。
- かながわ健康プラン21推進会議の構成団体がイベントやセミナー等(かながわ健康財団による各種イベントにおける簡易測定等)を開催し、ホームページで情報提供した。
- 民間と行政が一体となって、円滑に計画を推進するため、かながわ健康プラン21地域・職域連携推進部会を開催(1回)した。
- 市町村への情報提供及び連絡調整のため、市町村健康増進事業主管課長会議を開催(3回)するとともに、研修、健康教育を実施した。
- 健康づくりの地域・職域連携推進事業を実施した。

(主な実施状況)

	回数	参加人数	備考
会議	15回	266人	(県と5つの二次医療圏)
研修	8回	587人	(5つの二次医療圏)
健康教育	52回	1,874人	(二次医療圏)

(2) 医食農同源の推進

- 医食農同源の取り組みについて検討する医食農同源研究会を開催(1回)した。
- 県民等がパソコン等により利用できる漢方診断の症例を活用した未病チェックシートをホームページで公開し、県民が利用できるようにした。(アクセス件数62,671件)
- 平成24年度から25年度に開発した医食農同源レシピを県民の方々に活用していただくた

	め、「かながわの医食農同源レシピ集」を作成(700 部)した。 →医食農同源の考えや取組みを広く県民に普及啓発するチラシ「医食農」を発行(計 28,400 部)した。 →県立保健福祉大学の研究事業として、機能性を持つ農林水産物・食品開発プロジェクトの一環として、AMF 栄養ケアステーションを民間企業と連携して開設した。
(3) 食生活習慣の改善に向けた普及啓発の推進	
	→特定給食施設等に対して、栄養管理基準を遵守または実施し、利用者に応じた身体状況及び栄養指導等を踏まえた食事の提供が行われるよう、実地調査及び指導・助言を行った。 (実地調査及び指導件数： 1,501 件 (全 1,365 施設) (栄養管理講習会：76 回、1,627 施設、1,954 人) →地域特性に応じた栄養・食生活対策を推進するため、食生活に係る地域関係者(医療、福祉職等)を対象とした食生活支援担当者等研修会を実施した。 (食生活支援担当者等研修会：15 回、200 名)
(4) 食育の推進	
	→「神奈川の食育をすすめる会」参加企業、関係団体、学校などと連携し「かながわ食育フェスタ」を開催(平成 27 年 7 月)し、県内の市町村、関係団体、学校・企業などの様々な食育の取組を紹介した。(来場者：約 4,000 名) →若者の野菜摂取を向上するため、簡単にできる野菜レシピ集を季節ごとに作成・配布した。
(5) 生活習慣病予防効果を目指す保健活動方法の確立	
	→海老名市、寒川町、大磯町の 3 市町をモデル事業実施地域として、生活習慣病の重症化・合併症予防に重点を置き生活改善につながる新たな保健指導モデルの構築を目的とした生活習慣病予防強化型保健指導推進事業を実施した。(事業期間：平成 25 年度～平成 27 年度) ・家庭訪問・郵送等による初回保健指導を実施し、継続保健指導(グループ支援)への参加勧奨を行った。 ・継続保健指導は月 1 回の頻度で実施し、食生活の改善を中心に、参加者自身が気付き行動を変えるためのグループ継続型の保健指導を行い、生活習慣を改善することで検査値の改善を目指し、実際に参加者の生活習慣の改善等の効果を上げた。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県			出典等
				H25 年度	H26 年度	H27 年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 「かながわ健康プラン21」に基づく県民健康づくり運動の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・「かながわ健康プラン21(第2次)」及び「未病を治すかながわ宣言」を基に、県民健康づくり運動を着実に推進するため、有識者や関係団体で構成する会議や部会等でより意見・提案をいただき、より効果的な方策について検討を進めるとともに、県民が「未病を改善する」取組みなど健康づくりを実践する環境づくりに取り組んだ。
評価理由	取組みは順調に進められており、課題解決に向けて順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	・今後も推進会議等でより効果的な方策について検討を重ねるとともに、引き続き、県民健康づくり運動を市町村、企業及び関係団体等と連携・協力し推進する。

(2) 医食農同源の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・医食農同源の取組みについて、研究会等で検討を進めるほか、これまでの成果を、「未病チェックシート」の公開、レシピ集やチラシ等で県民へ広く普及啓発するとともに、県立保健福祉大学においては、機能性を持つ農林水産物等の研究の一環として、民間企業と連携し、AMF栄養ケアステーションを開設し、機能性を持つ農林水産物に関する情報提供、栄養診断、医食農同源の考えなどの普及を行った。
評価理由	レシピ集の作成など研究成果の活用を効果的に進め、医食農同源の考え方の普及やレシピを県民に活用いただけており、課題解決に向けて順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	・今後も検討を重ね、引き続き、医食農同源の取組みの推進及び普及啓発を行う。

(3) 食生活習慣の改善に向けた普及啓発の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・地域の関係機関等と連携を図りながら食生活支援を行う専門職種等関係者への研修を企画実施した。
評価理由	医療機関等関係機関との連携のもと、広域的又は専門的な知識及び技術を必要とする栄養指導や、難病患者及び合併症患者等疾病者に対する食生活支援者へ最新の知見や技術の取得できる研修を実施するなど、課題解決に向けて順調に進捗している。また、「未病を改善する」取組みにより、食生活の改善などの普及啓発の強化を図った。
今後の取組み	・今後も関係機関等と連携を取りながら地域の実情に合った研修の企画実施に

の方向性	繋げていく。
------	--------

(4) 食育の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	かながわ食育フェスタの来場者数は、前年度から 21% 増となった。
評価理由	かながわ食育フェスタの来場者数は、毎年順調に増加しており、食育に対する県民の関心を高まっており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	今後も様々な主体と連携し、引き続き食育を推進していく。

(5) 生活習慣病予防効果を目指す保健活動方法の確立

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	血圧・血糖・中性脂肪において、受診勧奨や要受診レベルの者の割合が減少した。(25 年度生活習慣病グループ)
評価理由	継続保健指導をおよそ月 1 回の頻度で実施し、参加者自身が食生活の課題に気づき生活習慣を改善するための保健指導を行った結果、生活習慣を改善し検査値が改善した者もいる。新たに、高血糖の方を対象にした継続保健指導にも取り組んだ。
今後の取組みの方向性	平成 25 年度から 27 年度に実施した継続保健指導の取組みを「かながわ保健指導モデル」のマニュアルとしてまとめ、県内市町村等へ普及していく。

4 総合評価

評価	評価理由
A	「未病を改善する」という考え方が、市町村、関係団体、企業等と連携・協力により、着実に県民の間に浸透してきており、県民が「未病を改善する」取組みを実践できる「未病センター」の設置に向け、企業、団体等と連携し、認証基準を策定するなど、県民の健康寿命の延伸に向け、着実に進捗している。

5 特記事項

--